

新刊紹介

第22巻第10號 昭和11年10月

地質・地震・氣象

内務技師 高田 昭、
理学博士 那須信治、著
理学博士 平田徳太郎

昭11. 8., アルス, 2.5 円, 菊版, 396 頁

地質学内容目次: 地形と其の成因, 火成岩の生成, 水成岩層の生成, 地層の変位, 岩石の風化, 山崩, 切取と地質, 隧道と地質, 堰堤と地質, 火成岩, 成層岩, 変成岩, 地質時代, 日本群島の地質構造概要

地震学内容目次: 地震と地震動, 震源及震央, 地震動の性質, 地震波の種類, 走時曲線, 走時曲線の解析, 地震波の反射屈折, 表面層の地震波傳播に及ぼす影響, 振子の理論, 水平動地震計, 上下動地震計, 工業用振動計, 地震計附属装置, 振動の調和分解, 振動知覺に關する實驗, 振動の快不快, 傾斜運動の測定, 地震動要素の算出, 地震動加速度的測定, 地震動加速度的觀測實例, 地表及地中の地震動比較, 建築物と地盤, 彈性構造物に及ぼす地震動の作用, 物体の顛倒による震度の推定, 木造及土塙家屋の被害と地震の強さ, 建物其他の構造物の震動, 實際の建物の振動測定, 構造物破壊の模型實驗, 木造家屋の振動測定, 橋梁の振動, 目に依る構造物の振動測定, 人工地震の一般的性質, 工場及交通機關に依る震動, 機械による震動, 人工地震に依る土地の固有振動の測定, 地盤振動減衰比の測定, 打杭に依る振動, 落函工事に依る地盤振動, 自動車に依る地盤振動, 彈性波地下探索法の歴史, 高倍率微動計, 彈性波, 岩石の彈性, 走時の測定, 人工地震の走時曲線, 人工地震の走時曲線解析, 屈折法, 反射法。

土木氣象学内容目次: 緒論, 温度, 湿度蒸發及凝結, 雨, 雪, 氣圧と風, 天氣。

キルヒホフ骨組の力学

第4巻 (建築工学海外名著集)

小野, 淺野, 中井, 坪井, 橋本 共譯

昭11. 8., コロナ社, 1.5 円, 四六倍版, 130 頁

R. Kirchhoff: Die Statik der Bauwerke Bd. I. u. II 1930 をコロナ社の海外名著集にとり上げて若い工学士の人達が翻譯されたのが本書である。今回刊行された第4巻は原書の Bd. II の最初の部分である。

原書は Bd. I に於て応力の基本的智識と各種靜定構造の解法を述べ Bd. II に於ては主として不靜定構造の解法を説明してゐる。本書の範圍は第1章靜定平面トラス及抗曲材の彈性変形の算定及第2章不靜定構造物の一般的解法の中の一部不靜定トラスの解法までを収めてゐる。

第1章の彈性変形の算定法としては, 平面トラスの各格點の彈性変位を求める Willot の図式解法, 多角形をなす部材の角変位を求める原理, トラス及アーチの彈性撓曲線の解析的解法及假想変位の定理の応用による解法とを詳述してゐる。

橋梁其他一般骨組構造物の設計者に一般橋梁特に特殊の構造物の設計に當り, その力学的解法の根據を明かならしむるに好箇の参考書であり, 又斯学研究者に所謂応用力学と實際構造物の力の作用關係との關係を理解せしむるには尠からず役立つものと考へられる。(野坂委員)

コンクリート總覽

(建築工学海外名著集)

Kleinlogel 原著
工博 濱田 稔外共譯昭11. 3. 20, 第15回第1巻, 116 頁, アーク,
昭11. 7. 15, 第19回第2巻, 236 頁, ケージ,
コロナ社, 各 1.5 円, 四六倍版

本書は Einflüsse auf Beton の翻譯で建築工学の参考書として出版されたのである。然し論ずる迄もなくコンクリートの智識は建築のみでなく否寧ろ土木方面の技術に携はる者に一層必要なものとも云へるが, 最近現場方面の文獻は相當に上梓せられ一般に不足を感ずることはないといふ譯者の言も誇張でもない。然し基礎的智識を得んとすれば参考書に乏しいの感ずるか茲に上記標題の書の翻譯が出版されたのであるから非常に有意義で且つ好参考資料となるは云ふまでもない。蓋しコンクリートの理論及現場施工のいづれに携はる人にも此の一部を備へておくことはコンクリートや示方書の解説を備ふることも同様非常に自信を増すこととなるであらう。

内容は「コンクリートに及ぼす物理的化學的のあらゆる影響を精細に検討したものであつて各項目につい

ての豊富な實驗並に經驗の蒐録は讀む者をして自ら首肯せしめるものがあろう」と緒言に記せる如く、一々アルファベット順になせる熟語の配列に従つて理論及實例を記して容易に必要な問題を解決し得る如くしてある。今後更に我國に於ける經驗實驗實例等をも記入されたものが發表されるならば一層の便利を與へてくれることであらう。

因に 8 月末に 4 冊中 2 冊が發刊され年内に完結を見る模様である。(大久保委員)

朝鮮直轄河川工事年報

(昭和 7 年度)

昭 11. 5., 朝鮮總督府, 四六倍版, 140 頁, 15 図, 附表 133 頁

本書は朝鮮總督府直轄施行の萬頃江, 載寧江, 洛東江, 漢江, 大同江及龍興江の所謂 6 河川と, 時局応急施設土木事業たる美湖川外 6 河川の改修工事に就き計畫の大要及工事施行の概要を記述せるもので, 各種土工及構造物の實績を末尾に附表として集録してある。(編輯部)

昭和 9 年南鮮の洪水

昭 11. 6., 朝鮮總督府, 四六倍版, 74 頁, 26 図.

本書は昭和 9 年 7 月中下旬南鮮地方を襲ひたる豪雨により洛東江, 榮山江, 錦江の各流域に起りたる未曾有の洪水に就て記述せるもので, 参考として既往洪水の概要も併記してある。(編輯部)

シベリヤ 極 東 地下燃料及水力資源詳鮮

昭 11. 7., 東京工業大学工業調査部, 菊版, 162 頁

本書はシベリヤ及極東地方に於ける資源調査の第 2 輯であつて, 動力資源一般即ち石炭, 石油の如き地下燃料及水力に關する調査を記録せるものである。その内容は第 1 編總論には地質調査の程度, 鑛床數, 埋藏量を, 第 2 編本論にはシベリヤ及極東各地に於ける石炭, 泥炭の埋藏量及性質を記し更に白炭即ち水力電氣に關し蘇城, オリガ地方の水力發電源, ウスリー灣水域その他に就て記してある。(編輯部)

上水道統計

昭 11. 8., 水道協會, 3.50 円, 菊版, 630 頁

本書は我國上水道事業の全貌を實に克明に且正確に統計したものであつて, 水道協會の如く全國都市を正會員に有つ組織にして始めて爲し得たる所であり, 寔に活用の廣いものである。何人も一度び本書を繰ればその内容の充實には必ず感嘆され満足されると信ずる。(板倉委員)

道路用としての滿洲産骸炭爐タール 及瓦斯タールに就て

附 アスファルト及タールの膠着性

前田稔, 日高史朗, 桑原一人 著

昭 11. 5. 南滿鐵道中央試驗所沙河研究所
試驗報告第 164 號, 17 頁

本報告は滿洲各地産タールの分析を行ひ, その水中に於ける変化, 日光直射の影響, 紫外線照射の影響, 瀝青乳劑の製造並に石材に對する膠着力を測定し紫外線による膠着力の変化を實驗的に研究したものである。(藤井眞透)